

金ヶ瀬地区の人口と世帯数

令和2年8月31日現在(前月比)

人口	3,590 人	(+ 1)
男性	1,768 人	(± 0)
女性	1,822 人	(+ 1)
世帯数	1,362 戸	(± 0)

こんにちは！

金ヶ瀬公民館です

2020  
第338号  
9月

## 令和2年度 金ヶ瀬公民館主催事業講座 Start!

### 親子陶芸教室が開催されました



9月6日(日)、公民館主催事業の「親子陶芸教室」が金ヶ瀬陶芸愛好会の皆さんの指導のもと、開催されました。

粘土をトントンと叩いて空気を抜いた後、のぼしたり型紙にそって切り抜いたりを繰り返し、マグカップやお皿を成形しました。

この後、①乾燥、②素焼き③釉(ゆう)がけ、④本焼きの工程に約1月かかります。完成が待ち遠しいですね。



### 令和2年度金ヶ瀬地区ペタンク大会は中止いたします

11月29日(日)に予定していたペタンク大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とさせていただきます。ご理解頂きますようお願いいたします。

◎9月・10月の休館日

9月23日、28日・10月5日、12日

◎図書室の休館日

土曜日、日曜日、月曜日

令和2年9月15日発行/大河原町金ヶ瀬公民館 TEL52-6635 FAX52-6736

## 金ケ瀬公民館の歴史探訪 第5回 道端の石碑に込められた先祖の思い

前回の歴史探訪は「土地改良記念碑」を紹介しましたが、同じ場所に「山神」「馬頭観世音」「庚申碑」「古峰大神」「金剛山」などの石碑が並んでいます。これらは江戸時代から明治にかけて建立されたもので、元々は別の場所にあったものを、土地改良記念碑建立に合わせてこの場所にまとめたのではないかと思います。また、これらと同種の石碑は、金ケ瀬本町鈴木翁碑周囲、大高山神社、香林寺境内、堤湯の沢、南角、大井戸、小不沢、五瀬など集落単位で見ることができます。



**馬頭観世音** 我が町の古碑で最も数の多い馬頭観世音は、六観音の一仏で畜生道の教主ともいわれ、よく働いてくれた馬の冥福のため建碑したものが主である。分布を見ると、大河原町上町の観音堂境内と、新田町の古峯神社境内が圧倒的に多い。これに次ぐものは金ケ瀬中学校前の山神境内、橋本入り口、福田大日向の旧沼田街道、そして上大谷の後戸場などの道筋である。このことは江戸時代の交通量をそのまま物語っている。すなわち奥州道中筋、特に宿駅の馬が多くたむろしたであろう大河原宿の両入り口や金ケ瀬宿に集中してみられる。

**庚申碑** 庚申は中国道教に由来する庚申信仰に基づいて建てられたもので、庚申講を1年に6回行い、3年18回続けた記念に建立されることが多い。庚申講とは、人間の体内にいるという三尸虫（さんしちゅう）という虫が、庚申の日の夜の寝ている間に天に登って天帝（「閻魔大王」ともいう）に日頃の行いを報告し、罪状によっては寿命が縮められたり、その人の死後に地獄・餓鬼・畜生の三悪道に墮とされると言われていた。そこで、三尸の虫が天に登れないようにするため、この夜は村中の人達が集まって神々を祀り、その後囲炉裏を囲んで寝ずに酒盛りなどをして夜を明かした。これが庚申講である。60日に1回は庚申（かのえさる）の日が巡ってくる（今年は9月14日、11月13日・・・）。



**山神** 当町で祀られる山の神は農耕の神としての山の神である。早春、山から田圃におりてきて田の神となり、収穫の済んだ晩秋に山にもどって山の神となる。山の神は山仕事をする者の守護神であると同時に農業の神として稲作の豊穰をもたらす神として信仰された。正徳から文化年間にかけてその多くが建立されている。

当時の人々の繋がりや強さ、神々への恐れと感謝、生活の安寧への願いなど、先祖の生活への思いがこの石たちに刻まれ、今に伝えられているのかもしれない。